

県内経済の動き

概況

〔2024年12月～2025年2月の動き〕

景気の緩やかな回復が続いている

鉱工業生産指数（12月）は2カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（1月 細島港）は5カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は3カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は2カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（1月）は7カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（1月）は前月比横ばいの1.29倍で、2月の企業倒産は前月比1件増の6件、負債総額は同1億35百万円増の5億33百万円となった。

景気回復が続く一方で、物価上昇がもたらす消費者マインドへの影響も懸念される。賃上げや宮崎市中心市街地の再開発等がさらなる消費喚起や需要拡大につながるかが注目される。